

環境調査結果のお知らせ

令和7年12月8日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最高で4 cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(℃)		(mg/L)		
A ガラク (9.5m) 【10:31】	0	21.2	34.3	6.6	90	0
	2	21.2	34.4	6.5	70	0
	5	21.1	34.3	6.4	60	0
	10	21.1	34.3	6.5	220	0
	底層 15.5	21.1	34.3	6.6	-	-
B 勢井 (10.5m) 【11:01】	0	21.1	34.3	6.9	120	0
	2	21.1	34.4	6.9	180	0
	5	21.0	34.3	6.9	100	0
	10	20.9	34.3	6.8	90	0
	底層 24	20.5	34.3	6.4	-	-
C 馬の背 (10.2m) 【10:51】	0	21.0	34.3	7.0	160	0
	2	21.0	34.3	7.0	90	4
	5	21.0	34.3	7.0	120	0
	10	20.9	34.3	6.9	160	0
	底層 19	20.5	34.3	6.7	-	-
D 大室戸 (7.8m) 【09:56】	0	21.0	34.3	6.6	140	0
	2	21.0	34.3	6.4	120	0
	5	21.0	34.3	6.5	100	0
	10	20.9	34.3	6.4	140	0
	底層 20.5	20.6	34.3	6.4	-	-
E 白浜 (11.8m) 【10:12】	0	21.1	34.2	6.9	-	-
	2	21.1	34.4	6.9	-	-
	5	21.1	34.3	6.9	-	-
	10	20.8	34.3	6.8	-	-
	底層 16.5	20.6	34.4	6.8	-	-
F 湾奥ブイ (9m) 【09:47】	0	20.8	34.3	6.7	80	0
	2	20.8	34.3	6.7	100	0
	5	20.7	34.3	6.6	220	0
	10	20.7	34.3	6.5	100	0
	底層 16.5	20.4	34.3	6.5	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	1～4月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度  
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度  
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 白浜
- F: 湾奥ブイ